
600号記念特別附録

『資料室報』～『大原社会問題研究所雑誌』総目次

解題と凡例

1. この総目次は、戦後、法政大学大原社会問題研究所が月刊で発行してきた『資料室報』第1号から、『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次である。
2. 『資料室報』は、法政大学大原社会問題研究所資料室編として、1953年2月20日に第1号が発行され、1979年12月25日発行の第261号まで続いた。
3. 後継誌は、『資料室報』を改題した『研究資料月報』であった。編集は、法政大学社会労働問題研究センターと法政大学大原社会問題研究所の共同編集となり、1980年1月25日発行の第262号から、1986年3月25日発行の第328号までであった。この雑誌名の改題の背景には、大原社会問題研究所に関わる組織変更があったが、その点、ここでは省略する（さしあたり、『大原社会問題研究所雑誌』494・495合併号の「大原社会問題研究所の80年」を参照されたい）。
4. 1986年3月、多摩キャンパス移転と同時に、財団法人法政大学大原社会問題研究所は解散し、1986年4月、大原社会問題研究所は法政大学の付置研究所として発足した。
5. その発足を契機に、1986年4月25日発行の4月号、第329号から、雑誌名は法政大学大原社会問題研究所編の『大原社会問題研究所雑誌』と改題され、現在に至っている。
6. このたび、第599・600号を発行するにあたり、『資料室報』第1号から『大原社会問題研究所雑誌』第599・600号までの総目次を掲載することとした。
7. 総目次の作成にあたっては、表紙目次から作成するのではなく、内容に即した総目次＝現物主義を原則とした。ただし、現物主義といっても、若干の修正ないし補正を行った場合がある。
 - ①ジャンルなどで、本体部分には表記がなく、逆に表紙の目次が正確な場合は、それによって補った場合もある。
 - ②漢数字やローマ数字は、それが論文などのタイトルに使われている場合はそのままとし、年月日や連載などの表記の場合は、算用数字の1, 2, 3…に置き換えた。
 - ③論文などの執筆者名は、終わりに（ ）などで示されている場合があるが、それらは分かる限りで、論文タイトルの後に、執筆者名として表記した。
8. 雑誌の紙数の関係で、『資料室報』から『研究資料月報』の時期までは二段組みとし、『大原社会問題研究所雑誌』については一段組みとした。
9. なお、大原社会問題研究所の公式Webサイト、<http://oisr.org/>で、この総目次を見る場合のため、総目次については全1個のファイルのほか、一段組みと二段組みとでそれぞれ別々のファイルに分けたものを掲げた。
10. この総目次は、早川征一郎・松尾純子・大平佳男の各研究員が、作成の原則および具体的な事例について、随時、協議しつつ、分担して作成し、それを統合した。（早川征一郎 記）

『資料室報』第1号～『研究資料月報』第328号

『資料室報』

【1号 1953年3月】

はしがき 法政大学大原社会問題研究所資料室
資料紹介

民労連の結成と総評
「秋田県農村二・三男対策調査結果報告書」

大島 清

戦前基準CPIの改訂

資料目録（1月分）

労働組合関係
官公庁刊行物
機関紙目録
通信類目録

労働組合の調査月報として

労働日誌（1953年1月）

【2号 1953年3月】

資料紹介

春季賃金闘争の特質

舟橋尚道

資料目録（2月分）

労働組合関係
官公庁刊行物
機関紙目録（追加）
通信類目録（追加）

労働日誌（1953年2月）

【3号 1953年4月】

資料紹介

昭和電工川崎工場の争議——農民との共同闘争とロツク・アウト

資料目録（3月分）

労働組合関係
官公庁刊行物
雑誌目録
機関紙目録（追加）

労働日誌（3月）

【4号 1953年5月】

資料紹介

鉄鋼業における企業合理化——経営者の合理化の主張

資料目録（4月分）

労働組合関係
官公庁刊行物

労働日誌（4月）

【5号 1953年6月】

資料紹介

日産化学のストライキから——最近の争議の特徴と労働提携の問題提起

資料目録（5月分）

労働組合関係
官公庁刊行物

労働日誌（5月）

【6号 1953年9月】

労働情勢

田沼 肇

資料紹介

炭鉱の企業合理化と反対闘争

労働日誌（6・7・8月）

後記

【7号 1953年11月】

労働情勢（1953年9月-10月）

資料紹介

組合運動における民主主義と職場組織——統一行動がどう具体化されているか

資料目録（6～10月）

労働組合関係
その他

労働日誌（9・10月）

【8号 1954年1月】

労働情勢（1953年11-12月）

石島 忠

資料紹介

今年の賃金要求にみられる統一行動

資料目録（定期刊行物）1月現在

雑誌
官庁資料
労組諸団体資料

労働日誌（11・12月）

【9号 1954年3月】

労働情報（1-2月）

資料紹介

炭労の部分ストと賃金カット——統一闘争への過渡期の闘い

資料目録

労働組合関係
官公庁刊行物
労働日誌（1・2月）

【10号 1954年5月】

労働情勢（3～4月）

資料紹介

三鉱連「経営」の社会化方針の経緯——いわゆる経営
参加の問題点

資料目録

労働組合関係
官公庁刊行物
労働日誌（3～4月）

【11号 1954年7月】

労働情勢（5～6月）

資料紹介

労働組合のいわゆる「不況対策」——不況についての
考え方とその方針

資料目録

労働組合関係
官公庁刊行物
労働日誌（5～6月）

【12号 1954年9月】

労働情勢（7・8月）

資料紹介

中小企業労働者の危機対策

資料目録

労働組合関係
官公庁刊行物
労働日誌（7・8月）

【13号 1954年11月】

労働情勢（9～10月）

資料紹介

- 1 総評の労働プランについての調査部案
- 2 三鉱連の経営方針変革について
- 3 全金属大会における討論
- 4 海員の賃金闘争方針

資料目録

官公庁刊行物
労働日誌（9～10月）

【14号 1955年4月】

資料紹介

労働生産性にかんする最近の諸資料

資料目録（定期刊行物）

- 1 機関紙（誌）
- 2 通信類
- 3 雑誌類
- 4 官公庁刊行物

労働日誌（1954年11・12月、1955年1・2月）

お知らせ

【15号 1955年5月】

資料紹介

社会保障とくに労働者の医療・健康対策をめぐる最近
の動き——健康保険法改正問題を中心として

資料目録

労働組合関係
官公庁資料
労働日誌（3～4月）

お知らせ

【16号 1955年10月】

資料紹介

組合の分析した産業情勢
中小企業労組の争議と組織

資料目録

生産性向上運動ならびに労働生産性にかんする資料目
録（7月以降）
中小企業労働組合運動にかんする資料目録（7月以降）
労働組合関係（5・6・7・8月）
官公庁刊行物（不定期）
労働日誌（5・6・7・8月）

【17号 1956年2月】

資料紹介

春の賃金闘争に関する各組合の方針・要求・および考
え方・その他の批判

資料目録（不定期）

労働日誌（1955年9～12月）

当研究所資料室受入定期刊行物（機関紙・誌、通信類、
雑誌、調査資料、統計資料、新聞等）総目録 1956年
1月現在

【18号 1956年4月】

労働関係資料目録（1956年1月～2月）

官公庁刊行物（前年度分の残り）

労働日誌（1～2月）

【19号 1956年5月】

労働関係資料目録（1956年3～4月）

労働日誌（3～4月）

戦後10年の賃金変遷表（年表）

【20号 1956年10月】

労働日誌（5～8月）
労働関係資料目録（5・6・7・8月）

【21号 1956年12月】

砂川事件（10月）に関する資料について
砂川日誌
砂川事件関係資料目録
労働日誌（9・10月）
労働関係資料目録（9・10月）

【22号 1957年3月】

戦後労働組合運動史文献目録について
永田利雄・田沼肇
文献目録の説明
戦後労働組合運動史文献目録
労働日誌（11・12月）
労働関係資料目録（11・12月）

【23号 1957年5月】

労働日誌（1～3月）
労働問題関係資料目録（1957年1月分）

【24号 1957年6月】

労働日誌（4～5月）
労働問題関係資料目録（1957年2,3月分）

【25号 1957年7月】

戦時労働問題文献目録（その1）
労働日誌（6月）
労働問題関係資料目録（1957年4,5月分）

【26号 1957年8月】

労働日誌（7月）
労働問題関係資料目録（1957年6月分）

【27号 1957年9月】

労働日誌（8月）
労働問題関係資料目録（1957年7,8月分）

【28号 1957年10月】

労働日誌（9月）
労働問題関係資料目録（1957年9月分）

【29号 1957年11月】

労働組合組織強化の問題点——組織点検運動の提唱のため
舟橋尚道
労働日誌（10月）
労働問題関係資料目録（1957年10月分）

【30号 1957年12月】

統一に向う農民組合と地主団体 大島 清
労働日誌（11月）
労働問題関係資料目録（1957年11月分）

【31号 1958年1月】

以西底曳網漁船々員の家計調査結果について——労働力の性格に関する一試料 齊藤泰明
労働日誌（12月）
労働問題関係資料目録（1957年12月分）

【32号 1958年2月】

最近の生活調査資料について 原 薫
書評
『日本労働年鑑』第30集について思う 沼田稻次郎
十年の反省の友 藤田若雄
労働日誌（1958年1月）
労働資料目録（1958年1月分）

【33号 1958年3月】

日教組の「学校白書」運動——最近の労働組合調査活動の一例 田沼 肇
労働日誌（1958年2月）
労働資料目録（1958年2月分）

【34号 1958年4月】

労働組合の職務給対策——最近の傾向について 石島 忠
労働日誌（1958年3月）
労働資料目録（1958年3月分）

【35号 1958年5月】

ソ連の世界経済研究所—外国の研究めぐり（1） 宇佐美誠次郎
労働日誌（1958年4月）
労働資料目録（1958年4月分）

【36号 1958年6月】

「社史」について——社史・行史・経営者団体史の紹介 宇佐美誠次郎・永田利雄
付：社史文献（戦後刊行）目録一覧（昭和33年5月現在）
労働日誌（1958年5月）
労働資料目録（1958年5月分）

【37号 1958年8月】

定期昇給制度の問題点 舟橋尚道
労働日誌（1958年6・7月）

労働資料目録（1958年6,7月分）

【38号 1958年9月】

わが国人口の社会的構成——雇用労働者の数量上の地位
齊藤泰明

労働日誌（1958年8月）

労働資料目録（1958年8月分）

【39号 1958年10月】

不換銀行券論争における問題点——不換銀行券の本質規定について
原 薫

労働日誌（1958年9月）

労働資料目録（1958年9月分）

【40号 1958年11月】

農地改革史文献解説 大島清・永田利雄
付：農地改革史文献目録一覧—1958年2月現在

労働日誌（1958年10月）

労働資料目録（1958年10月分）

【41号 1958年12月】

労働問題研究と「社史」の利用 田沼 肇

労働日誌（1958年11月）

労働資料目録（1958年11月分）

【42号 1959年1月】

ブラハの経済研究所と経済大学——外国の研究所めぐり
(2) 宇佐美誠次郎

労働日誌（1958年12月）

労働資料目録（1958年12月分）

【43号 1959年2月】

業者間協定の実態分析 舟橋尚道
『日本労働年鑑』第31集への書評

労働日誌（1959年1月）

労働資料目録（1959年1月分）

【44号 1959年3月】

農家兼業と中小工業労働力——三重県桑名市鋳物工業の事例
齊藤泰明

資料

戦前・戦後のメーカー・スローガン

労働日誌（1959年2月）

労働資料目録（1959年2月分）

【45号 1959年4月】

不換銀行券の流通における問題点——不換銀行券論争によせて
原 薫

労働日誌（1959年3月）

労働資料目録（1959年3月分）

【46号 1959年5月】

職業技術教育と労働問題（I）——主な文献および資料について
田沼 肇

労働日誌（1959年4月）

労働資料目録（1959年4月）

【47号 1959年6月】

職業技術教育と労働問題（II）——主な文献および資料について
田沼 肇

労働日誌（1959年5月）

労働資料目録（1959年5月分）

【48号 1959年8月】

ベルリンの経済研究所—外国の研究めぐり（3）
宇佐美誠次郎

労働日誌（1959年6・7月）

労働資料目録（1959年6・7月分）

【49号 1959年9月】

高野岩三郎先生略年譜と著作目録 久留間鮫造

労働日誌（1959年8月）

労働資料目録（1959年8月分）

【50号 1959年10月】

農家の租税公課諸負担について 大島 清

労働日誌（1959年9月）

労働資料目録（1959年9月分）

『日本労働年鑑』第32集出版案内

【51号 1959年11月】

賃金綱領の問題点 舟橋尚道

労働日誌（1959年10月）

労働資料目録（1959年10月分）

【52号 1959年12月】

中小工業の存立形態に関する資料——自1958年1月至59年12月
齊藤泰明

労働日誌（1959年11月）

労働資料目録（1959年11月分）

【53号 1960年1月】

農家出身就業者の一性格（1）——三重県松阪市、桑名市の実態調査
原 薫

労働日誌（1959年12月）

労働資料目録（1959年12月刊行分）

【54号 1960年2月】

農家出身就業者の一性格(2)——三重県松阪市、桑名市
の実態調査 原 薫
労働日誌(1960年1月)
労働資料目録(1960年1月刊行分)
労働資料目録収録誌一覧(雑誌・通信類)

【55号 1960年3月】

職業技術教育と労働問題(III)——主な文献および資料
について 田沼 肇
労働日誌(1960年2月)
労働資料目録(1960年2月刊行分)

【56号 1960年4月】

職業技術教育と労働問題(IV)——主な文献および資料
について 田沼 肇
労働日誌(1960年3月)
労働資料目録(1960年3月刊行分)

【57号 1960年5月】

西ドイツと日本の労働者階級構成の比較のために
宇佐美誠次郎
労働日誌(1960年4月刊行分)
労働資料目録(1960年4月刊行分)

【58号 1960年6月】

労農提携運動の現状 大島 清
労働日誌(1960年5月)
労働資料目録(補遺)

【59号 1960年8月】

最近における賃金体系及び形態の特質 舟橋尚道
労働日誌(1960年6月)
社史文献目録一覧(2)——戦後刊行分(1960年5月現
在)

【60号 1960年9月】

わが国産業における中小・零細工業の地位——家内工業
労働者とその労働 齊藤泰明
労働日誌(1960年7・8月)
調査内容別-労働問題統計調査ならびに資料目録(その
1)

【61号 1960年10月】

火力発電における技術革新と労働者の変化——東京電力
における実態調査 宇佐美誠次郎・原薫

【62号 1960年11月】

三池炭鉱争議に関する資料・文献目録 田沼 肇

【63号 1960年12月】

病院ストに関する資料——組織・統一闘争までの争議・
要求状況・文献資料目録 資料室編
労働日誌(1960年9・10月)
調査内容別-労働問題統計調査ならびに資料目録(その2)

【64号 1961年1月】

戦時労働年鑑の編纂のために——『日本労働年鑑』の変
遷と戦時年鑑編纂用の資料について 宇佐美誠次郎
労働日誌(1960年11・12月)
調査内容別-労働問題統計調査ならびに資料目録(その3)

【65号 1961年3月】

戦前労農運動関係雑誌・機関紙・通信類目録
労働日誌(1961年1・2月)

【66号 1961年4月】

年功序列賃金に対する資本と労働の対策 舟橋尚道
労働日誌(1961年3月)
調査内容別-労働問題統計調査ならびに資料目録(その
4・完)

【67号 1961年5月】

炭鉱災害と鉱山保安監督制度 齊藤泰明
附1 石炭鉱山重大災害一覧
附2 上清炭鉱災害調査報告(1 通産省鉱山保安局, 2
総評調査団)
労働日誌(1961年4月)
資料室報総索引(第1号~第67号)

【68号 1961年6月】

中・高年齢層の労働移動の実態(1)——富士自動車離職
者の再就職状況 原 薫
労働日誌(1961年5月)

【69号 1961年8月】

中・高年齢層の労働移動の実態(2)——富士自動車離職
者の再就職状況 原 薫
労働日誌(1961年6月)

【70号 1961年9月】

労働市場と農家労働力 大島 清
労働日誌(1961年7・8月)
戦後・労働組合の経済政策ならびに関連運動に関する年表

【71号 1961年10月】

戦時下の文化運動とその弾圧などにかんする諸資料-戦
時労働年鑑編纂のために(その2) 宇佐美誠次郎
労働日誌(1961年9月)

戦後・労働組合の経済政策ならびに関連運動に関する文献資料目録（その1）——産業復興闘争と経済復興運動に関して

【72号 1961年11月】

労働問題研究と「社史」の利用——事業内職業訓練について（1） 永田利雄・田沼肇
労働日誌（1961年10月）
戦後・労働組合の経済政策ならびに関連運動に関する文献資料目録（その2）——生産管理と経営協議会、国有国営・社会化に関して

【73号 1961年12月】

労働問題研究と「社史」の利用——事業内職業訓練について（2） 田沼肇・永田利雄
労働日誌（1961年11月）
労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その3）——石炭復興闘争（1946～49年）の1

【74号 1962年1月】

最近の物価動向について——公共料金・サービス料金値上げと消費者物価 齊藤泰明
労働日誌（1961年12月）
労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その4）——石炭復興闘争の2

【75号 1962年2月】

農業労働力の流出とその波紋 大島 清
労働日誌（1962年1月）
労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その5）——石炭復興闘争の3

【76号 1962年3月】

インフレーション期における物価変動——戦争直後のインフレーション期を例として 原 薫
労働日誌（1962年2月）
労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その6）——石炭復興闘争の4

【77号 1962年4月】

戦争末期における労働者の食生活についての資料——戦時労働年鑑編纂のために（その3） 宇佐美誠次郎
労働日誌（1962年3月）
労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その7）——石炭復興闘争の5

【78号 1962年5月】

日本は低賃金か 舟橋尚道
労働日誌（1962年4月）

労働組合の経済政策・関連運動に関する資料（その8）——石炭復興闘争の6

【79号 1962年7月】

職業訓練政策と労働組合——第3回職業技術教育研究会をめぐる資料紹介 田沼 肇
労働日誌（1962年5月）
本年上半期における労働問題文献の傾向——項目別の特徴と主要文献紹介 石島 忠
付：石炭政策転換闘争に関する文献目録

【80号 1962年8月】

わが国人口の社会的構成——1960年 齊藤泰明
労働日誌（1962年6・7月）

【81号 1962年9月】

最近の雇用と企業整備 原 薫
労働日誌（1962年8月）
所蔵農民運動史資料目録（第2部）-その1 日本農民組合総本部（1922年4月～1926年2月）

【82号 1962年10月】

戦後の恐慌論におけるいくつかの問題点——最近の読書メモからの抜萃 久留間敏造
労働日誌（1962年9月）
所蔵農民運動史資料目録（第2部）-その2 日本農民組合総本部（1926年3月～1926年10月）

【83号 1962年11月】

最近における労働組合の賃金政策 舟橋尚道
労働日誌（1962年10月）
所蔵農民運動史資料目録（第2部）-その3 日本農民組合総本部（1926年11月～1928年5月）

【84号 1962年12月】

在米日本人社会主義者の機関紙『平民』について
労働日誌（1962年11月）
所蔵農民運動史資料目録（第2部）-その4 日本農民組合関東同盟・地方協議会・青年部（1923年～1928年）

【85号 1963年1月】

統計的認識における集団観察と個別事例観察——統計的因果研究の課題 齊藤泰明
1962年下半年の主要労働問題文献
労働日誌（1962年12月）

【86号 1963年2月】

小企業における最近の労働力需給事情 原 薫
昨年度（1962年）における賃金問題に関する文献——主

として賃金水準をめぐって
1月の労働日誌 (1963年)

【87号 1963年3月】
貨幣商品・金の価値変動と物価——貨幣の諸機能に及ぼす影響についての覚書 齊藤泰明
2月の労働日誌 (1963年)

【88号 1963年5月】
1962年中に発表された賃金問題に関する文献 (2) ——主として賃金体系をめぐって
3月の労働日誌 (1963年)
4月の労働日誌 (1963年)

【89号 1963年6月】
戦時労働力としての中国人捕虜の資料 (1) ——戦時労働年鑑編纂のために (その4) 宇佐美誠次郎
新日本室素水俣争議・日誌と資料目録
5月の労働日誌 (1963年)

【90号 1963年8月】
戦時労働力としての中国人捕虜 (2) ——戦時労働年鑑編纂のために (その5) 宇佐美誠次郎
6月の労働日誌 (1963年)
7月の労働日誌 (1963年)

【91号 1963年9月】
松川事件と労働組合 田沼 肇
8月の労働日誌 (1963年)
大原社研蔵のプロレタリア文学関係の充実した内容について 小田切秀雄
プロレタリア文学関係所蔵文献目録 (その1) -1893年～1929年

【92号 1963年10月】
資料室報特別号
中小企業における労働力需給事情と労働移動——機械器具工業並に印刷業の実態
法政大学大原社会問題研究所
(舟橋尚道・原薫・齊藤泰明)

【93号 1963年11月】
社会民主主義と社会ファシズムについての覚え書 大島 清
9月の労働日誌 (1963年)
10月の労働日誌 (1963年)
プロレタリア文学関係所蔵文献目録 (その2) ——1930年

【94号 1963年12月】

会社史からみた戦時中の労働者状態 (その1)

田沼 肇

11月の労働日誌
プロレタリア文学関係所蔵文献目録 (その3・了)
——1931年～1939年

【95号 1964年1月】
高野岩三郎年譜 大島清・永田利雄
“資料室”整備の一方途——当研究所資料室の経験から——その1・分類整理を中心に 石島 忠
12月の労働日誌 (1963年)

【96号 1964年2月】
太平洋戦争下における労働人口の動員と配置 (1) 齊藤泰明
最近の労働問題の特徴点を文献から探る 石島 忠
労働日誌 (1964年1月)

【97号 1964年3月】
太平洋戦争下における労働人口の動員と配置 (2) 齊藤泰明
“資料室”整備の一方途 (続) ——その2・収集と管理について 石島 忠

資料紹介
今年の最低賃金闘争の進め方に関する論点
労働日誌 (1964年2月)

【98号 1964年4月】
インフレーション・物価変動に関する文献、資料 (1) ——戦争直後のインフレーション期を対象とする 原 薫

資料紹介
統一行動の前進をめぐってくい違ふ社共の見解から
労働日誌 (1964年3月)

【99号 1964年6月】
太平洋戦争下の労務管理 徳永重良
反合理化闘争の改良的側面について 石島 忠
労働日誌 (1964年4月)

【100号 1964年7月】
資料室報特別号
1963年度調査報告
中小企業における賃金決定事情
法政大学大原社会問題研究所
(大島清・原薫・齊藤泰明)

【101号 1964年8月】
技術的進歩と雇用の変動

—アメリカと西ドイツの場合 宇佐美誠次郎
 労働日誌 (1964年5月)
 「資料室報」索引68号～100号

【102号 1964年9月】

第二次大戦中における労働者の抵抗 田沼 肇
 労働日誌 (1964年6・7月)
 戦後労働組合産業別組織変遷図 (その1) —— 鉱業, 金属産業

【103号 1964年10月】

死亡率低下の社会的要因について——青年層死亡率の戦前・戦後比較 齊藤泰明
 労働日誌 (1964年8・9月)
 戦後労働組合産業別組織変遷図 (その2)
 ——化学産業, 交通運輸

【104号 1964年11月】

インフレーション下の賃銀変動に関する資料——わが国戦争直後のインフレ物価変動に関する資料 (2) 原 薫
 労働日誌 (1964年10月)

【105号 1964年12月】

企業別組合と企業内闘争の位置づけ 石島 忠
 労働日誌 (1964年11月)

【106号 1965年1月】

労働組合運動の創始者・高野房太郎 大島 清
 労働日誌 (1964年12月)
 法政大学大原社会問題研究所図書資料閲覧規程

【107号 1965年3月】

資料室報特集107号
 1964年度調査報告
 中小企業における賃金決定事情 (2)
 法政大学大原社会問題研究所
 (大島清・原薫・齊藤泰明)

【108号 1965年4月】

資料室報特別号
 法政大学大原社会問題研究所創立45周年記念特集
 はしがき 法政大学大原社会問題研究所
 四十五年間の思い出 久留間敏造
 高野岩三郎博士と日本の労働運動 河野 密
 大原研究所創立の頃 森戸辰男
 世界経済の中の日本 大内兵衛

【109号 1965年5月】

イギリスの初期労働運動にかんする新しい解釈について 中林賢二郎

労働日誌 (1965年1・2月)
 「太平洋戦争下の労働者状態」に対する書評 (転載)
 隅谷三喜男・孫田良平

【110号 1965年6月】

軍事化と雇用——ホルガー・マイヤの論文紹介 宇佐美誠次郎
 労働日誌 (1965年3, 4月)

【111号 1965年8月】

欧米のホワイト・カラーの賃金 舟橋尚道
 労働日誌 (1965年5, 6月)

【112号 1965年9月】

中小工業における年少労働者の就業形態もしくは「徒弟制度」——徒弟制教育について 齊藤泰明
 付: 「徒弟制度」および徒弟制教育に関する論文・文献目録
 労働日誌 (1965年7, 8月)

【113号 1965年10月】

機械・金属工業における労働移動 (1) 原 薫
 労働日誌 (1965年9月)
 大原社研蔵 労働争議・小作争議・治安維持法関係等裁判記録目録——大正8年～昭和5年
 法政大学大原社会問題研究所資料室

【114号 1965年11月】

不況下の労働市場と農家労働力の移動 大島 清
 労働日誌 (1965年10月)

【115号 1965年12月】

E.J.ホプスバウム「一八五〇年以後のイギリス労働運動の諸潮流」について 中林賢二郎
 労働日誌 (1965年11月)

【116号 1966年1月】

特別号
 太平洋戦争下の労働者状態・労働運動を回顧する会
 大原社研について 久留間敏造
 戦争下の労働者・労働運動について 宇佐美誠次郎
 私は戦争下の労働運動を語る資格はないが 加藤勘十
 労働組合と産報運動 西尾末広
 労働階級の根強い抵抗が各所で組織されていた 金子健太
 教訓をかみしめ自らの姿勢を匡す 沼田稲次郎
 大原社研のまな板の上に堂々とのって 高野 実

現代の合理化と産報化にたいする闘い
きびしい教訓を生かして
戦時下の労働運動と今日の労働運動
大原社研と労働年鑑

灰原茂雄
栗山益夫
塩田庄兵衛
大内兵衛

社会科学専門図書館における図書分類の問題——東ドイツにおける分類法を中心に
宇佐美誠次郎
労働日誌 (1966年11月)
“Die Neue Zeit” Inhaltsverzeichnis (I) 1883-1885

【117号 1966年2月】

岡谷・諏訪工業地帯における労働力の需給と移動の実態
(1) 舟橋尚道・中林賢二郎
労働日誌 (1965年12月, 1966年1月)

【118号 1966年4月】

特別号
岡谷・諏訪工業地帯における労働力の需給と移動の実態 (2)
舟橋尚道・中林賢二郎
労働日誌 (1966年2・3月)

【119号 1966年5月】

北九州筑豊炭鉱閉山地帯失業者調査中間報告——田川市郡失業者の諸類型

【120号 1966年5月】

岡谷・諏訪工業地帯における労働力の需給と移動の実態 (3)
舟橋尚道・中林賢二郎
岡谷・諏訪工業地帯における労働市場の概況
舟橋尚道・中林賢二郎
労働日誌 (1966年4月)

【121号 1966年7月】

機械・金属工業における労働移動 (2) 原 薫
労働日誌 (1966年5月)

【122号 1966年8月】

中小企業労働組合研究の課題 小林謙一
労働日誌 (1966年6月)

【123号 1966年9月】

大原社会問題研究所所蔵の戦前資料について 二村一夫
労働日誌 (1966年7月)

【124号 1966年10月】

労働組合運動の創始者・高野房太郎 (2) 大島 清
労働日誌 (1966年8・9月)

【125号 1966年12月】

コミンテルン第一三回プレナムの資料について 中林賢二郎
労働日誌 (1966年10月)

【126号 1967年1月】

【127号 1967年2月】

資本制家内労働について——家庭内職工賃の決定事情 齊藤泰明
労働日誌 (1966年12月)
所蔵定期刊行物目録 (1) ——労働組合機関誌紙

【128号 1967年3月】

神戸地区労働市場の一般概況 舟橋尚道・町田隆男
労働日誌 (1967年1月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (2) ——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (II) 1886-1890

【129号 1967年4月】

特集 所蔵図書資料の紹介
大原社会問題研究所とその蔵書 久留間鮫造
ズユースミルヒ「神の秩序」初版本の復刻 有沢広巳
大原社研所蔵のヨーロッパ関係図書資料について
良知 力
大原社研蔵のプロレタリア文学関係文献の充実した内容について 小田切秀雄
戦前資料について 二村一夫
戦後労働関係資料の蒐集整理状況について 石島 忠
訪問記
法政大学大原社会問題研究所資料室 内山 和

【130号 1967年5月】

インフレーション下の賃銀変動——わが国戦後インフレ期を例とする 原 薫
労働日誌 (1967年2・3月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (3) ——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (III) 1890-1892

【131号 1967年6月】

鉄鋼下請企業における労働力の需給と移動の実態 舟橋尚道・二村一夫
所蔵定期刊行物目録 (2) ——XI 統計 (1)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (4) ——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (IV) 1892-1894

【132号 1967年8月】

「資本論」とドイツ労働運動——ドゥルーベック教授の論文の紹介 宇佐美誠次郎
労働日誌 (1967年4・5月)
所蔵定期刊行物目録 (3) ——XI 統計 (2)

【133号 1967年9月】
四日市工業地帯における産業構造の概況
小林謙一・亀山直幸
労働日誌（1967年6月、7月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（5）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (V) 1894-1895

【134号 1967年10月】
ウィリアム・ベンボウとその「グランド・ナショナル・ホリデー」について
中林賢二郎
労働日誌（1967年8月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（6）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (VI) 1895-1896

【135号 1967年11月】
エレンア・マルクスの手紙
都築忠七
ノイエ・ツァイト誌総目次（7）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (VII) 1896-1897

【136号 1967年12月】
わが国の産業構成と労働者
付、社会階級構成表
別表① 大橋隆憲氏表
別表② 江口英一氏表
齊藤泰明
労働日誌（1967年9・10月）
所載定期刊行物目録（その4）——VII 官公庁年報・白書 VIII 一般年鑑・年報
付録 『日本労働年鑑』第38集、1968年版

【137号 1968年1月】
労働市場問題に関する地方資料
原 薫
労働日誌（1967年11、12月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（8）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (VIII) 1897-1898

【138号 1968年3月】
亀戸事件小論
資料
二村一夫
自由法曹団作成
亀戸労働者殺害事件調査（21通）
官憲ノ検東者ニ対スル暴状（6通）
検査される迄の記
神道久三

【139号 1968年4月】
労働組合運動の創始者・高野房太郎（3）
大島 清
書評
『高野岩三郎伝』（「朝日新聞」, 「朝日ジャーナル」より転載）
労働日誌（1968年1、2月）

【140号 1968年5月】
特別号
労働組合の組織にかんする調査報告（1）
全国金属労組の組織の発展とその組織活動の現段階
法政大学大原社会問題研究所
（中林賢二郎・原薫）

【141号 1968年6月】
特別号
労働組合の組織にかんする調査報告（2）
全国金属労組の支部組織の実態——企業別支部
法政大学大原社会問題研究所
（中林賢二郎・原薫）

【142号 1968年7月】
一〇〇年来の世界各国の実質賃銀と搾取率の推移——ク
チンスキー教授の推計
宇佐美誠次郎
労働日誌（1968年3・4・5月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（9）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (IX) 1898-1899

【143号 1968年8月】
石油化学工業における労働市場——四日市石油化学コン
ビナート調査覚書
齊藤泰明
労働日誌（1968年6月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（10）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (X) 1899-1900

【144号 1968年9月】
開拓地における農業構造——構造問題の一事例として
小林謙一
労働日誌（1968年7月）
ノイエ・ツァイト誌総目次（11）——“Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XI) 1900-1901

【145号 1968年10月】
高野房太郎生誕100年記念号
高野房太郎生誕100年記念号発行に当って
法政大学大原社会問題研究所
日本における労働運動
高野房太郎
日本のオルガナイザーから（通信）
高野房太郎
日本における新しい労働組合
高野房太郎
兄高野房太郎を語る
高野岩三郎
職工組合に就て
高野岩三郎
高野房太郎君を憶ふ
天涯茫茫生
労働組合の誕生 ——高野房太郎生誕百年に寄せて
大島 清
高野房太郎関係文献目録

【146号 1968年11月】

労働力不足と労使関係 舟橋尚道
労働日誌 (1968年8・9月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (12) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XII) 1901-1902

【147号 1968年12月】

労働組合の組織にかんする調査報告 (3)
全国金属労組の支部組織の実態——地域支部
法政大学大原社会問題研究所 (原 薫)

【148号 1969年2月】

新人会機関誌の執筆者名調査 二村一夫
付: 新人会機関誌総目次
労働日誌 (1968年10・11・12月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (13) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XIII) 1902-1903

【149号 1969年3月】

コミンテルン・イギリス支部を形成した諸潮流
中林賢二郎
労働日誌 (1969年1月)

ノイエ・ツァイト誌総目次 (14) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XIV) 1903-1904

【150号 1969年4月】

クチンスキーの「労働者状態史」全四〇冊が生れるまで
宇佐美誠次郎

研究所行事報告

高野岩三郎・櫛田民蔵両先生を追憶し研究所創立五〇周年を祝賀する会

労働日誌 (1969年2月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (15) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XV) 1904-1905

【151号 1969年5月】

技能労働者の養成と職業訓練法——職業訓練法の改変について 齊藤泰明

労働日誌 (1969年3月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (16) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XVI) 1905-1906

【152号 1969年6月】

大企業における雇用制度とその変貌 小林謙一
労働日誌 (1969年4月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (17) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XVII) 1906-1907

【153号 1969年8月】

特別号

大原社会問題研究所創立50周年記念講演会
はしがき——記念講演会と“社会運動の半世紀”展法
政大学大原社会問題研究所
挨拶 中村 哲
社会運動の半世紀と大原研究所 大島 清
私と大原研究所 美濃部亮吉
世界の中の日本——一九七〇年社会運動の展望 大内兵衛

【154号 1969年9月】

年功賃金について 舟橋尚道
労働日誌 (1969年5, 6, 7月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (18) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XVIII) 1907-1908

【155号 1969年10月】

三月前期ドイツ急進主義者たちの手紙 (I)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (19) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XIX) 1908-1909
労働日誌 (1969年8・9月)

【156号 1969年11月】

三月前期ドイツ急進主義者たちの手紙 (II)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (20) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XX) 1909-1910
労働日誌 (1969年10月)

【157号 1969年12月】

初期の政治研究会と無産政党組織問題 大野節子
労働日誌 (1969年11月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (21) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XXI) 1910-1911

【158号 1970年1月】

わが国における女子労働者の地位——結婚退職制および
女子若年停年制について
付: 住友セメント事件判旨 (東京地裁昭和41年12月20
日判決) 齊藤泰明
労働日誌 (1969年12月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (22) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XXII) 1911~1912

【159号 1970年2月】

全国坑夫組合の組織と活動 (1) 二村一夫
労働日誌 (1970年1月)
ノイエ・ツァイト誌総目次 (23) —— “Die Neue Zeit”
Inhaltsverzeichnis (XXIII) 1912~1913

【160号 1970年3月】
 1922年4月開催の三つのインタナショナルのベルリン協
 議会について 中林賢二郎
労働日誌 (1970年2月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (24) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXIV) 1913～1914

【161号 1970年5月】
 四日市工業地帯における労働市場の概況 (上) —— 職安
 統計の分析を中心として 小林謙一
労働日誌 (1970年3月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (25) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXV) 1914～1915

【162号 1970年6月】
 日本旅行記 クチンスキー
 『マルクス経済学レキシコン』書評2つ
 マルクス主義の不可欠の参考書
 クチンスキー (訳: 宇佐美誠次郎)
 「レキシコン」に学ぶ 遊部久蔵
労働日誌 (1970年4月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (26) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXVI) 1915～1916
 クチンスキーの『レキシコン』書評 (原文)

【163号 1970年7月】
特別号 建設者同盟特集
 はしがき 法政大学大原社会問題研究所
 故浅沼社会党委員長を偲ぶ会 (1960年10月20日)
 亡き浅沼稲次郎君を祭る文——弔辞
 第一回建設者同盟の集い (1960年12月15日)
 建設者同盟懐旧懇談会 (1962年2月25日)
 建設者同盟関係年表
 旧建設者同盟会員名簿

【164号 1970年8月】
 四日市工業地帯における労働市場の概況 (下) —— 職安
 統計の分析を中心として 小林謙一
労働日誌 (1970年5月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (27) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXVII) 1916～1917

【165号 1970年9月】
 日本人労働者の状態 高野房太郎
 日本の典型的労働者 高野房太郎
 解説 大島 清
労働日誌 (1970年6・7月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (28) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXVIII) 1917～1918

【166号 1970年10月】
 賃金管理の日本の特質について 舟橋尚道
労働日誌 (1970年8, 9月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (29) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXIX) 1918～1919

【167号 1970年12月】
 日本銀行勘定の動き 原 薫
労働日誌 (1970年10月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (30) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXX) 1919～1920

【168号 1971年1月】
 全国坑夫組合の組織と活動 (2) 二村一夫
労働日誌 (1970年11月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (31) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXXI) 1920～1921

【169号 1971年2月】
 文献研究・日本労働運動史 二村一夫
労働日誌 (1970年12月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (32) —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXXII) 1921～1922

【170号 1971年3月】
 アムステルダムの国際社会史研究所にて 中林賢二郎
労働日誌 (1971年1月)
 ノイエ・ツァイト誌総目次 (33) 完 —— “Die Neue Zeit”
 Inhaltsverzeichnis (XXXIII) 1922～1923

【171号 1971年4月】
 わが国における労働者災害補償制度の端緒——鉱業労働
 者に対する「救恤」もしくは「扶助」 斉藤泰明
労働日誌 (1971年2月)
 法政大学大原社会問題研究所図書資料分類法

【172号 1971年5月】
 日本の同盟罷業 (3編) 高野房太郎／解説: 大島 清
研究所行事報告
 高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会
 櫛田民蔵著・大内兵衛補修『「共産党宣言」の研究』につ
 いての書評
労働日誌 (1971年3月)

【173号 1971年6月】
 幕末の倉敷知識人たち——大原社会問題研究所の「夜明
 け前」 中村 哲

【174号 1971年7月】

最近の労働判例（上）——1970年6月～1971年4月
解説：秋田成就

労働日誌（1971年4月）

【175号 1971年8月】

最近の労働判例（下）——1970年6月～1971年4月
解説：秋田成就

労働日誌（1971年5月）

【176号 1971年10月】

国家論としての社会政策論 舟橋尚道
労働日誌（1971年6・7・8月）

【177号 1971年11月】

雑誌『マルクス主義』の執筆者名調査 二村一夫
『マルクス主義』総目次
労働日誌（1971年9・10月）

【178号 1971年12月】

コミンテルンのアムステルダム・サブビューローと1920
年2月の国際協議会について 中林賢二郎
議事録 1920年2月3～8日アムステルダム開催の第
三インタナショナル協議会
労働日誌（1971年11月）

【179号 1972年1月】

タクシー運転者の労働基準と労働時間——8時間労働制
の擬制 斉藤泰明
労働日誌（1971年12月）

【180号 1972年2月】

創成期の日本農民組合——日本農民組合創立50周年を記
念して 大原勇三
労働日誌（1972年1月）

【181号 1972年3月】

『帝国主義論』の刊行と邦訳の諸版 宇佐美誠次郎
労働日誌（1972年2月）

【182号 1972年4月】

日本におけるわがオルガナイザー
高野房太郎／翻訳・解説 大島 清
日本労働運動の展望
高野房太郎／翻訳・解説 大島 清
労働日誌（1972年3月）

【183号 1972年6月】

OECD（経済協力開発機構）の対日意見書について
舟橋尚道

労働日誌（1972年4月）

【184号 1972年7月】

吾孫子豊『公共企業体労働関係法制定経過概要』について
早川征一郎

労働日誌（1972年5月）

【185号 1972年8月】

全国坑夫組合の組織と活動（3） 二村一夫
労働日誌（1972年6月）

【186号 1972年9月】

個別賃金要求をめぐる若干の問題 白井泰四郎
労働日誌（1972年7月）

【187号 1972年10月】

ハイヤー・タクシー・観光バス運転手の労働移動
中林賢二郎
労働日誌（1972年8月）

【188号 1972年11月】

職業訓練と労働組合——フランスにおける経験
斉藤泰明
付・「職業訓練に関する国際シンポジウム」（1971年7
月）におけるフランス労働総同盟（CGT）代表の報告
労働日誌（1972年9月）

【189号 1972年12月】

クチンスキーの「労働者階級」論 宇佐美誠次郎
労働日誌（1972年10月）

【190号 1973年2月】

高野房太郎の賃金論（上）——G.ガントン理論との関連
大島 清
労働日誌（1972年11・12月）

【191号 1973年3月】

高野房太郎の賃金論（下）——G.ガントン理論との関連
大島 清
労働日誌（1973年1月）

【192号 1973年4月】

日本の雇用政策の特質 舟橋尚道
労働日誌（1973年2・3月）

【193号 1973年5月】

特別号
金属機械労働者実態調査報告（1）
法政大学大原社会問題研究所金属機械労働者調査班

- 【194号 1973年6月】
 金属機械労働者実態調査報告(2) 法政大学大原社会問題研究所金属機械労働者調査班
- 【195号 1973年7月】
 金属機械産業の展開と総評全国金属労働組合 相田利雄
 金属機械労働者実態調査報告(3) 法政大学大原社会問題研究所金属機械労働者調査班
- 【196号 1973年9月】
 アメリカ労働組合運動の動向(上) 白井泰四郎
 労働日誌(1973年4・5・6月)
- 【197号 1973年10月】
 アメリカ労働組合運動の動向(下) 白井泰四郎
 労働日誌(1973年7・8月)
- 【198号 1973年11月】
 現代イギリス労働組合運動の新しい傾向とジャック・ジョーンズ 訳：中林賢二郎
 70年代の労働組合運動
 ジャック・ジョーンズ 訳：中林賢二郎
 民主主義は成長する組合の活力
 ジャック・ジョーンズ 訳：中林賢二郎
 労働日誌(1973年9月)
- 【199号 1973年12月】
 アダム・スミスゆかりの地訪問記——エジンバラ・カーコーディネー 斉藤泰明
 労働日誌(1973年10・11・12月)
- 【200号 1974年1月】
 200号記念特集
 座談会
 戦後の大原社会問題研究所と労働年鑑
 出席者：上杉捨彦・田沼肇・中林賢二郎・斉藤泰明・石島忠・二村一夫・早川征一郎／司会：舟橋尚道／紙上参加：宇佐美誠次郎・大島清
 「資料室報」索引第101～200号
- 【201号 1974年2月】
 英国建設業の交渉機構(上)——運輸一般労組拡大の制度的背景 岡本秀昭
 労働日誌(1974年1月)
- 【202号 1974年3月】
 英国建設業の交渉機構(下)——運輸一般労組拡大の制度的背景 岡本秀昭
 労働日誌(1974年2月)
- 【203号 1974年5月】
 雑誌「マルクス主義」の五年間(1) 二村一夫
 労働日誌(1974年3月)
- 【204号 1974年6月】
 大原研究所蔵の「資本論」初版本とクーゲルマン文庫、ハースバハ文庫など(上) 宇佐美誠次郎
 労働日誌(1974年4月)
- 【205号 1974年7月】
 日本における労働運動家の経験 高野房太郎
 日本の大鉄道ストライキ 高野房太郎
 日本からの労働通信 高野房太郎
 解説 大島清
 労働日誌(1974年5月)
- 【206号 1974年8月】
 大原研究所蔵の『資本論』初版本とクーゲルマン文庫、ハースバハ文庫など(下) 宇佐美誠次郎
 労働日誌(1974年6月)
- 【207号 1974年9月】
 賃金上昇と企業福祉 舟橋尚道
 労働日誌(1974年7月)
- 【208号 1974年10月】
 母性保護と婦人部活動(上)——繊維、合成化学婦人労働者調査をつうじて 早川征一郎・川島美保
 労働日誌(1974年8月)
- 【209号 1974年12月】
 母性保護と婦人部活動(下)——繊維、合成化学婦人労働者調査をつうじて 早川征一郎・川島美保
 労働日誌(1974年9月)
- 【210号 1975年1月】
 西ドイツ労使関係の動向 白井泰四郎
 労働日誌(1974年10月)
- 【211号 1975年2月】
 第2半インタナショナルの「政綱」と「決議」 中林賢二郎
 労働日誌(1974年11月)
- 【212号 1975年3月】
 大原社研蔵『東芝労連資料』について 山本潔
 労働日誌(1974年12月)
- 【213号 1975年4月】

英国第1回人口調査(1801年)以前の人口推計(上) —
—アダム・スミスのウィリアム・イーデン宛書簡
(1786年1月3日付)でとりあげられた「ウェブスター・センサス」について
齊藤泰明
労働日誌(1975年1月)

【214号 1975年5月】

英国第1回人口調査(1801年)以前の人口推計(下)
齊藤泰明

研究所行事報告

高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会
労働日誌(1975年2月)

【215号 1975年7月】

雑誌『マルクス主義』の五年間(2) 二村一夫
雑誌『マルクス主義』の執筆者名調査補正 二村一夫
労働日誌(1975年3月)
労働日誌(1975年4月)

【216号 1975年8月】

現在の世界経済恐慌についてのベルリン・シンポジウム
宇佐美誠次郎
労働日誌(1975年5月)

【217号 1975年9月】

農民運動史資料(1)
農業綱領(綱領委員会草案)
『農業綱領(綱領委員会草案)』について
解説 大島 清
労働日誌(1975年6月)

【218号 1975年10月】

全国一律最賃制に関する資料 舟橋尚道
Book List of Oyama Bunko (Foreign Book)
労働日誌(1975年7・8月)
お願い

【219号 1975年11月】

日本労働運動史参考文献案内 是枝洋・二村一夫
労働組合史所蔵文献目録(1)
労働日誌(1975年9月)

【220号 1975年12月】

『出版警察報』所載の『無産者新聞』に関する調査について
二村一夫
資料 無産者新聞の戦術に関する調査
労働組合史所蔵文献目録(2)
労働日誌(1975年10月)

【221号 1976年2月】

最近に於ける無産者新聞の宣伝組織と、その活動
労働日誌(1975年11・12月)

【222号 1976年3月】

アメリカのILO脱退について 白井泰四郎
労働日誌(1976年1月)

【223号 1976年4月】

『東芝労連印刷』目録および解題 大原社研資料室
『東芝労連印刷』目録
労働日誌(1976年2月)

【224号 1976年5月】

労働・社会主義インタナショナル規約 中林賢二郎
労働・社会主義インタナショナル規約
資料
第二無産者新聞の創刊と其の準備闘争に就て
研究所行事報告
高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会

労働日誌(1976年3月)

【225号 1976年6月】

英国の職業訓練——1973年雇用および訓練法と英国労働
組合会議(TUC)の対応 齊藤泰明
労働組合史所蔵文献目録(3) —官公庁・経営者団体
労働日誌(1976年4月)

【226号 1976年7月】

『資本論』ドイツ語諸版の装本とアイケ・コプフ君の研究
宇佐美誠次郎
労働日誌(1976年5月)

【227号 1976年9月】

農民運動史資料(2)
農民委員会の任務、組織および運動
『農民委員会の任務・組織および運動』について
大島 清
労働日誌(1976年6月)

【228号 1976年10月】

家内労働最低賃金関係資料 舟橋尚道
労働組合機関紙・誌所蔵目録——戦後篇(1)
労働日誌(1976年7・8月)

【229号 1976年11月】

国鉄労働者意識調査結果について(1) 早川征一郎
労働組合機関紙・誌所蔵文献目録——戦後篇(2)
労働日誌(1976年9月)

【230号 1976年12月】
アメリカ労働組合の財政 白井泰四郎
『資本論』ドイツ語諸版の装本とアイケ・コプフ君の研究
への補遺 宇佐美誠次郎
労働組合機関紙誌所蔵文献目録——戦後篇 (3)
労働日誌 (1976年10月)

【231号 1977年1月】
英国の職業訓練 (2) ——Release制の適用状況—産業訓
練委員会活動の継続教育 (Further Education) との連
携上における寄与 齊藤泰明
労働日誌 (1976年11月・12月)

【232号 1977年2月】
資料紹介
VILEM KAHANの研究によるコミンテルン最高諸機関
の構成員 中林賢二郎
労働日誌 (1977年1月)

【233号 1977年4月】
英国の職業訓練 (3) ——英国労働組合同議 (TUC) の
“産業訓練”にたいする政策的基盤と課題 齊藤泰明
労働組合史, 争議記録・闘争記録所蔵目録 (4)
労働日誌 (1977年2月)

【234号 1977年5月】
新「メガ」第2部刊行開始記念のミュールハウゼン・シン
ポジウム 宇佐美誠次郎
研究所事業報告
高野岩三郎・榊田民蔵両先生追憶会
労働日誌 (1977年3月・4月)

【235号 1977年6月】
農民運動史資料 (3)
農業農民問題に関する一報告
『農業農民問題に関する一報告』について 大島 清
労働組合機関誌・紙所蔵目録——戦前篇 (1)
労働日誌 (1977年5月)

【236号 1977年7月】
研究所々蔵資料紹介
社会・労働関係資料 (戦前の部) 早川征一郎
付: 中央労働学院 (旧協調会) よりの受入原資料一覧
労働日誌 (1977年6月)

【237号 1977年8月】
企業別組合の国際的評価について 白井泰四郎
労働日誌 (1977年7月)

【238号 1977年9月】
研究所々蔵資料紹介
社会・労働関係資料 (戦後の部) 早川征一郎
高野岩三郎文庫について 齊藤泰明
社会・労働関係資料 (洋書の貴重本一斑)
宇佐美誠次郎
労働日誌 (1977年8月)

【239号 1977年11月】
世界労連開催の1953年の国際社会保障会議に関する資料
中林賢二郎
高野岩三郎文庫目録
労働日誌 (1977年9月)

【240号 1977年12月】
英国の職業訓練 (4) ——戦後における継続教育
(Further Education) の展開と昼間就業免除 (Day
Release) 制 齊藤泰明
高野岩三郎文庫目録 (2)
労働日誌 (1977年10月)

【241号 1978年1月】
榊田民蔵顕彰碑建立さる
榊田民蔵顕彰碑建立の記 大島 清
榊田民蔵顕彰碑建設趣意書
榊田民蔵の生涯と業績 大内兵衛
榊田民蔵顕彰碑除幕式
各新聞紙報道
労働日誌 (1977年11月)

【242号 1978年2月】
春闘史における官公労——その国民的意義と課題
早川征一郎
労働日誌 (1977年12月・1978年1月)

【243号 1978年3月】
クチンスキー文庫 (1) 宇佐美誠次郎
労働組合史, 労働争議・闘争記録所蔵目録 (5)
労働日誌 (1978年2月)

【244号 1978年4月】
英国の職業訓練 (5) ——「高等教育」の二元制—大学と
継続教育 (Further Education) 施設 齊藤泰明
ロビンズ報告における勧告事項の一覧
労働日誌 (1978年3月)

【245号 1978年6月】
労働組合の経営参加について 白井泰四郎

研究所事業報告

高野岩三郎・櫛田民蔵両先生追憶会

労働日誌 (1978年4月)

【246号 1978年7月】

アレン・ハット「イギリス労働組合運動小史」第6版の増補部分について 中林賢二郎

労働日誌 (1978年5月)

【247号 1978年8月】

『無産者新聞』小史(上) 二村一夫

【248号 1978年9月】

クチンスキー文庫(2) 宇佐美誠次郎

労働日誌 (1978年6月)

【249号 1978年10月】

『無産者新聞』小史(下) 二村一夫

労働日誌 (1978年7月・8月)

【250号 1978年11月】

農民運動史資料(4)

「農業農民問題に関する一報告」に関する若干の批判要綱覚え書き

解説 『「農業農民問題に関する一報告」に関する若干の批判要綱覚え書き』について 大島 清

労働日誌 (1978年9月)

【251号 1979年1月】

国鉄労働者意識調査結果について(2) 早川征一郎

労働日誌 (1978年10・11月)

【252号 1979年2月】

国鉄労働者意識調査結果について(完) 早川征一郎

労働日誌 (1978年12月)

【253号 1979年3月】

英国の職業訓練(6)——鉄鋼業における具体的事例 齊藤泰明

大原社会問題研究所故関係者名簿

労働日誌 (1979年1月)

【254号 1979年4月】

「ブロック報告」と国際比較 岡本秀昭

労働日誌 (1979年2月)

【255号 1979年5月】

横浜市とデトロイト市の労働移動 舟橋尚道

労働組合史、労働争議・闘争記録所蔵目録(6)

労働日誌 (1979年3月)

【256号 1979年6月】

労働運動の前進・停滞をめぐるイギリス左派内の論争 中林賢二郎

研究所事業報告

高野岩三郎先生外研究所関係物故者追憶会

労働日誌 (1979年4月・5月)

【257号 1979年8月】

新メガの編集をめぐる(1) 宇佐美誠次郎

労働日誌 (1979年6月)

【258号 1979年9月】

農民運動史資料(5)

農民委員会運動方針(1932年1月) 全農全国会議

農民委員会と農民組合 大島 清

労働日誌 (1979年7月、8月)

【259号 1979年10月】

片山潜の未発表書簡について——「パーマ・レイド」前後とモスクワ便り 二村一夫

労働日誌 (1979年9月)

【260号 1979年11月】

定年延長問題に関する資料 早川征一郎・大野喜実

【261号 1979年12月】

「行政整理」(1949年)に関する基本資料——行政管理庁『行政機構年報・第1巻』について 早川征一郎

『研究資料月報』

【262号 1980年1月】

労働者家計の現状と諸特徴——国鉄労働組合家計調査結果「1978年、国鉄労働者の家計簿」 齊藤泰明

研究所事業報告

- 1 法政大学創立100周年・大原研究所創立60周年記念秘蔵貴重書・書簡特別展示会のこと 二村一夫
- 2 座談会・秘蔵貴重書・書簡特別展示の意義
宇佐美誠次郎・松川七郎・良知力・二村一夫
- 3 大原社会問題研究所創立60周年・「日本労働年鑑」第50集刊行記念パーティ

労働日誌 (1979年10～11月)

【263号 1980年3月】

賃金決定における労使関係要因——小林謙一教授に答える
舟橋尚道

産別会議発行定期刊行物総目次(1)——“情報”“週刊情報”“調査資料”

【264号 1980年4月】

60 Years of Ohara Institute for Social Research

NIMURA Kazuo

労働日誌 (1979年12月～1980年2月)

【265号 1980年5月】

労働市場と雇用政策——スウェーデンの事例(上)

岡本秀昭

労働日誌 (1980年3月～4月)

【266号 1980年6月】

新メガの編集をめぐって(2) 宇佐美誠次郎
大内兵衛先生への弔辞 中村 哲

社会労働問題研究センター利用案内・所報

社会労働問題研究センター利用案内

法政大学大原社会問題研究所所報 (1980年1～3月)

付 「産別会議および全労連に関する基本資料の集成とその分析」依頼文書

労働日誌 (1980年5月)

【267号 1980年7月】

経済統計学演習要綱

統計学史ノ一節

東京市勢調査に就て

先決問題を解決せよ

経済的民治主義

統計家の任務

来るべき国勢調査に就て

現時に於る統計学の任務に就て

高野岩三郎

高野岩三郎

高野岩三郎

高野岩三郎

高野岩三郎

高野岩三郎

高野岩三郎

高野岩三郎

解説

統計学者としての高野先生の姿勢——八編の小論を読んで 大島 清

労働日誌 (1980年6月)

【268号 1980年8月】

人事院の最近の動向と役割——公務員制度見直し論との関連において 早川征一郎

新メガの編集をめぐって(2)への補遺 宇佐美誠次郎

労働日誌 (1980年7・8月)

【269号 1980年9月】

わが国の賃金構造と中高年労働者賃金——いわゆる“年功賃金”の内実 齊藤泰明

付 製造業年齢階級別現金給与額・労働時間・労働者数表 (1978年6月)

【270号 1980年11月】

低成長下の賃金決定

舟橋尚道

労働日誌 (1980年9月)

【271号 1980年12月】

労働市場と雇用政策——スウェーデンの事例(中)

岡本秀昭

労働日誌 (1980年10月)

【272号 1981年1月】

カーネギー平和財団と大内兵衛＝榊田民蔵

宇佐美誠次郎

労働日誌 (1980年11月)

【273号 1981年2月】

足尾銅山における労資関係の史的分析(1)——「足尾暴動の基礎過程」再論 二村一夫

労働日誌 (1980年12月)

【274号 1981年3月】

日本における工場法案

高野房太郎

日本における工場法制定

高野房太郎

日本の工場立法

高野房太郎

解説

労働組合格成会の工場法案修正運動と高野房太郎

大島 清

労働日誌 (1981年1月)

【275号 1981年4月】

いわゆる民間準拠問題について——若干の資料提示を中心として 早川征一郎

労働日誌 (1981年2月, 3月)

【276号 1981年6月】

わが国の賃金構造と中高年労働者賃金(2)——大企業男子労働者と公務員の賃金 齊藤泰明
法政大学大原社会問題研究所業務報告(1980年4月~81年3月)
法政大学社会労働問題研究センター業務報告(1980年4月~81年3月)
社会労働問題研究センター利用案内
労働日誌(1981年4月)

【277号 1981年7月】

60歳定年制の一般化のために——定年延長の経過と問題点 舟橋尚道
労働日誌(1981年5月)

【278号 1981年8月】

イギリス労働組合運動における職場組織と職場委員 中林賢二郎
寄稿 研究ノート
用語・訳語の難しさ 「スペイン戦争」をめぐる 川成 洋
労働日誌(1981年6月~7月)

【279号 1981年9月】

IMLBの蔵書とその歴史 宇佐美誠次郎
産別会議発刊定期刊行物総目録(2)——「調査旬報」
労働日誌(1981年8月)

【280号 1981年10月】

労働市場と雇用政策——スウェーデンの事例(下) 岡本秀昭
産別会議発刊定期刊行物総目録(3)——“働くなかま”(「調査旬報」改題)
労働日誌(1981年9月)

【281号 1981年11月】

足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の基礎過程」再論(2) 二村一夫
産別会議発刊定期刊行物総目録(4)——“産別情報”(1) No.1~58号

【282号 1982年1月】

日本における婦人労働 高野房太郎
日本人労働者の生活状態 高野房太郎
産業資本確立期の労働者状態 解説 大島 清
産別会議発刊定期刊行物総目録(5)——“産別情報”(2) No.59~112号
労働日誌(1981年10月)

【283号 1982年2月】

経済復興会議の組織と運動(上) 早川征一郎・吉田健二
労働組合史, 労働争議, 闘争記録所蔵目録(7)
産別会議発刊定期刊行物総目録(6)~「労働者」1949年3月~11月号
労働日誌(1981年11, 12月)

【284号 1982年3月】

経済復興会議の組織と運動(中) 早川征一郎・吉田健二
労働日誌(1982年1月)

【285号 1982年4月】

労働者の賃金と生活——インフレと不況, 実質増税下での労働者生活 齊藤泰明
研究ノート
「ジャック・白井」文献学的研究序説 川成 洋
労働日誌(1982年2・3月)

【286号 1982年5月】

プロレタリア科学研究所の活動と『プロレタリア科学』 梅田俊英
足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の基礎過程」再論(3) 二村一夫

【287号 1982年6月】

日本の経営と雇用・賃金 舟橋尚道
労働日誌(1982年4月)

【288号 1982年8月】

イギリスにおける社会民主党結成と労働党 中林賢二郎
労働運動史文献目録——1979年 是枝 洋

【289号 1982年9月】

原蕃期における鉱山労働者数——明治前期産業統計の吟味(上) 二村一夫
労働運動史文献目録——1979年(2) 是枝 洋

【290号 1982年10月】

原蕃期における鉱山労働者数——明治前期産業統計の吟味(下) 二村一夫
労働日誌(1982年5月)(1982年6月)

【291号 1982年11月】

日本における戦争と労働 高野房太郎
上海の中国人裁縫師のストライキ 高野房太郎
日本の農民 高野房太郎
解説
ナショナリスト・高野房太郎の一面 大島 清
労働日誌(1982年7・8月)

【292号 1982年12月】

経済復興会議の組織と運動（下） 早川征一郎・吉田健二
労働日誌（1982年9月）

【293号 1983年1月】

労働者の賃金と生活（2）——賃金とライフステージ別
「実態生計費」 齊藤泰明
資料紹介
『権田保之助研究』創刊される 大島 清
木村定氏の逝去を悼む 大島 清
労働日誌（1982年10～11月）

【294号 1983年3月】

特集 久留間敏造先生追悼号

まえがき
追悼の言葉 有沢広巳
追悼の言葉 櫛田ふき
久留間先生と共に 中村 哲
弔辞 大島 清
弔辞 原 薫
久留間先生と『レキシコン』が出るまでのこと 大谷禎之介
資本論研究会と久留間先生 相原 茂
久留間先生との触れ合い 杉本俊朗
久留間敏造先生追悼会でしゃべるはずであったこと 上杉捨彦
久留間敏造先生の思い出 前畑憲子
久留間先生の学問上のお仕事など 宇佐美誠次郎
久留間敏造先生年譜 二村一夫
久留間敏造先生著作目録 是枝 洋作成

【295号 1983年4月】

職業訓練の国際比較——最近20年間の動向 岡本秀昭
労働組合史、労働争議・闘争記録所蔵目録（8）
労働日誌（1982年12月、1983年1～2月）

【296号 1983年5月】

「全造船三菱資料」について
「全造船三菱資料」目録
労働日誌（1983年3月）

【297号 1983年6月】

足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
基礎過程」再論（4） 二村一夫
「全造船三菱資料」目録（その2）
労働日誌（1983年4・5月）

【298号 1983年7月】

櫛田民蔵蔵書に関連して 宇佐美誠次郎

労働日誌（1983年6月）

【299号 1983年8月】

人事院の公務員制度見直し案について 早川 征一郎
参考資料

【300号 1983年10月】

法政大学・富士セミナーハウス開設記念学術シンポジウ
ム 80年代の雇用と賃金
はじめに
OECD主要国の労働経済と労使関係 舟橋尚道
スタグフレーション試論 増田寿男
労働力需給基調の変化をうかがわせる雇用・賃金変動
田中博秀
二重構造論争と雇用・失業問題 小林謙一
総括討論 司会 中林賢二郎
総括とコメント 岡本秀昭

「資料室報」「研究資料月報」索引（第201号～300号）

労働日誌（1983年7～8月）

【301号 1983年11月】

高齢化社会研究会報告 1

リタイアメントの社会科学——R. C. アチュリーの研
究について 小林謙一
日本の労働問題 高野房太郎
東京の馬車鉄道 高野房太郎
労働組合期成会 高野房太郎
解説 大島 清

労働日誌（1983年9月）

【302号 1983年12月】

足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
基礎過程」再論（5） 二村一夫
労働日誌（1983年10月）

【303号 1984年1月】

足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
基礎過程」再論（6） 二村一夫
労働日誌（1983年11～12月）

【304号 1984年2月】

創立65周年記念 大原社会問題研究所史料集

史料1 創立当初の諸文書——財団法人設立申請書その
他
史料2 同人社問題・『雑誌』編集等に関する資料——
櫛田民蔵より森戸辰男あての手紙
史料3 東京移転に関する資料——森戸辰男より久留間
敏造あての手紙その他
解説 大原社会問題研究所史料の編集に当って

大島 清
研究所行事 高野・櫛田・大内・久留間諸先生を追憶する会より
 久留間先生の一周忌に
 宇佐美誠次郎
労働日誌 (1984年1月)

【305号 1984年3月】
法政大学大原社会問題研究所公開講座
 「企業別組合論の再検討」(1)
 企業別組合の歴史的背景
 二村一夫
 討論要旨
労働運動史文献目録——1980年
 是枝 洋

【306号 1984年4月】
法政大学大原社会問題研究所公開講座
 「企業別組合論の再検討」(2)
 企業別組合の機能とその基盤
 栗田 健
 討論要旨
労働運動史文献目録——1980年(2)
 是枝 洋

【307号 1984年6月】
 日系進出企業における経営現地化の現状と特徴(上) —
 —インドネシアにおける事例研究
 佐藤博樹
高齢化社会研究会報告 2
 アメリカにおける企業年金の受給権保護の動向——高
 齢化に関する国家委員会の報告書から
 岡 伸一

QWL研究会報告 1
 QWL問題の本質と組織行動論
 中野千秋
ロンドン・レポート(1)
 ロンドンのメーデー
 早川征一郎
紹介
 在米日系企業に関する3冊の本
 大曾根寛
労働日誌 (1984年2月~3月)
 大原社会問題研究所・社会労働問題研究センター所報

【308号 1984年7月】
 大島清・森戸辰男両先生の死を悼む
 日系進出企業における経営現地化の現状と特徴(下) —
 —インドネシアにおける事例研究
 佐藤博樹
紹介・翻訳
 カール・マルクスの3通の書簡
 ハンス・ベルガー／大谷禎之介訳

QWL研究会報告 2
 労働の人間化の研究動向
 嶺 学
労働運動史文献目録 1981年(1)
 是枝 洋
 所報 1984年5月
法政大学大原社会問題研究所
 1983年度事業報告書
 1984年度事業計画

【309号 1984年8月】
 社会民主主義からプラニスムへ——大恐慌期における
 ド・マンの政策思想
 佐伯哲朗
 足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
 基礎過程」再論(7)
 二村一夫
書評

高橋克嘉著『イギリス労働組合主義の研究』
 浅見和彦
労働運動史文献目録 1981年(2)
 是枝 洋
 所報 1984年6月

【310号 1984年9月】
 足尾銅山における労資関係の史的分析——「足尾暴動の
 基礎過程」再論(8)
 二村一夫
書評

セオドア・コーエン著／大前正臣訳『日本占領革命・
 GHQからの証言』上巻・下巻
 遠藤公嗣
調査・資料の紹介
 労働組合に関する最近の調査——組織、組合員、役職
 員、財政、活動課題
 佐藤博樹

QWL研究会報告 3
 ボルボ・カルマール10年の経験をめぐって
 嶺 学
労働運動史文献目録 1981年
 是枝 洋
 所報 1984年7月
 所報 1984年8月

【311号 1984年10月】
高齢化問題関係機関調査報告
 法政大学大原社会問題研究所高齢化社会研究会

【312・313号 1984年11・12月】
産別会議の成立過程(1)
 吉田健二
産別会議研究会ヒアリング(1)
 産別会議活動家のヒアリング連載にあたって
 吉田健二
 関東労協結成前後——元関東労協書記長・春日正一氏
 に聞く

QWL研究会報告
 新技術と作業組織——その展開とILOの政策
 嶺 学
研究ノート
 イギリス「国際旅団協会」の現状と動向
 川成 洋
ロンドン・レポート(2)
 LSEの図書館について
 早川征一郎
 所報 1984年9月
 所報 1984年10月

【314号 1985年1月】
 わが国最低賃金制の現状と課題
 白井泰四郎
 定期昇給の実態と理論
 舟橋尚道

書評

シュミッター／レームブルッフ編 山口定監訳、高橋
進・辻中豊・坪郷実共訳『現代コーポラティズム I』
五十嵐仁

QWL研究会

ME化と労働の人間化 嶺 学
「労働者派遣事業」関係文献目録
所報 1984年11月
所報 1984年12月

【315号 1985年2月】

【公開シンポジウム】高度情報化と労働組合——産業組織・雇用労働の変化，労働組合の対応

シンポジウムの目的 佐藤博樹
報告
情報通信システムの発達と産業組織，雇用労働への
インパクト 今野浩一郎
ニューメディアと社会システム 河村昭治郎
企業内情報システムと企業内組織の変化
小林良暢

POSの導入と企業内組織，雇用労働へのインパクト
尾関和男

討論
高度情報化と労働組織の対応をめぐる
総括報告
高度情報化と労働組合——CWA（アメリカ通信労組）
の未来像 岡本秀昭

労働日誌（1984年7月～12月）

【316号 1985年3月】

The Impact of Microelectronic Technology and the
Related Policies in Japan Manabu MINE

QWL概念の本質に関する考察——R. E. WaltonのQWL論
を中心として 中野千秋

ロンドン・レポート（3）

LSEの図書館再論——マイクロフィッシュ・カタログ，
予算，人事・給与問題について 早川征一郎

【317号 1985年4月】

日系進出企業における賃金制度と個別賃金管理——イン
ドネシアにおける事例研究 白木三秀・佐藤博樹
現代日本の政治過程と自民党——最近の自民党論の傾向
と諸論点 五十嵐仁

ロンドン・レポート（4）

イギリスの炭鉱争議（1） 早川征一郎
所報 1985年1月
所報 1985年2月

【318号 1985年5月】

足尾暴動の主体的条件（1）——「原子化された労働者」
説批判 二村一夫

ロンドン・レポート（5）

イギリスの炭鉱争議（2） 早川征一郎

QWL研究会報告

職務設計理論の展開と課題 嶺 学
労働組合，労働争議・闘争記録所蔵目録（9）
所報 1985年3月

【319号 1985年6月】

現代日本の政策決定過程と自民党——統・最近の自民党
論の傾向と諸論点 五十嵐仁

足尾暴動の主体的条件（2）——「原子化された労働者」
説批判 二村一夫

産別会議研究会ヒアリング

長谷川浩氏に聞く（1）——戦後の労働組合の再建活動
と10月闘争

所報 1985年4月

法政大学大原社会問題研究所1985年度事業計画

【320号 1985年7月】

The Changing Nature of Work Albert Bernard Cherns

ロンドン・レポート（6）

イギリスの炭鉱争議（3） 早川征一郎

産別会議研究会ヒアリング

長谷川浩氏に聞く（2）——2・1ストと産別自己批判

労働関係文献資料月録 1985.3.1～3.31受付分

法政大学大原社会問題研究所

所報 1985年5月

法政大学大原社会問題研究所1984年度事業報告

【321号 1985年8月】

労働組合の組織と交渉力に関する研究会報告

労働市場の内部化と労働組合 中村圭介

労働組合の存在意義——労働条件向上機能の検討・試
論 佐藤博樹

ロンドン・レポート（7）

イギリスの炭鉱争議（4） 早川征一郎

QWL研究会報告

日本企業の労働組織と労働生活の質 倉田良樹

産別会議研究会ヒアリング

長谷川浩氏に聞く（3）——地域人民闘争戦術・民同の
成立

労働関係文献資料月録 1985.5.1～5.31受付分

法政大学大原社会問題研究所

所報 1985年6月

【322号 1985年9月】

組合効果に関する最近の研究——アメリカにおける計量

- 研究の展開 神谷拓平
足尾暴動の主体的条件 (3) —— 「原子化された労働者」
説批判 二村一夫
「新社会主義者」の路線と運動——1930年代前半期フランスの事例 佐伯哲朗
ロンドン・レポート (8)
イギリスの炭鉱争議 (5) 早川征一郎
所報 1985年7月
- 【323・324号 1985年10・11月】**
高齢者事業団アンケート調査報告
法政大学大原社会問題研究所高齢化社会研究会
【325号 1985年12月】
戦後型年功賃金の形成とその意義——1950年代のM造船
における賃金問題の展開 橋元秀一
足尾暴動の主体的条件 (4・完) —— 「原子化された労働者」説批判 二村一夫
紹介
浮田文庫と鈴木茂三郎——付 渡米時の写真について 鈴木徹三
労働運動史文献目録 1982年 (1) 是枝 洋
所報 1985年8月・9月
- 【326号 1986年1月】**
戦前南葛地域における労働組合運動の展開
アンドルー・ゴードン
- イギリスの炭鉱争議 (6) 早川征一郎
プロレタリア科学研究所関係史料の紹介と、2、3の論点 梅田俊英
労働運動史文献目録 1982年 (2) 是枝 洋
所報 1985年10月
- 【327号 1986年2月】**
高齢化社会研究会報告 3
高齢者の社会参加活動——経済企画庁編・市区町村担当
者調査について 小林謙一
イギリスの炭鉱争議 (7) 早川征一郎
産別会議研究会ヒアリング
細谷松太氏に聞く (1) ——産別会議準備会の活動と10
月闘争 吉田健二
労働運動史文献目録 1982年 (3) 是枝 洋
所報 1985年11月
- 【328号 1986年3月】**
雇用調整と地域労働市場——造船不況を事例として 佐藤博樹
イギリスの炭鉱争議 (8) 早川征一郎
産別会議研究会ヒアリング
細谷松太氏に聞く (2) ——2・1ストと産別自己批判 吉田健二
所報 1985年12月